

平成30年1月25日  
～美ら島の未来を拓く～  
内閣府沖縄総合事務局

**インフラメンテナンス技術の発展の場づくりに  
参加いただける企業・団体等を募集します！**  
～沖縄におけるインフラメンテナンスの課題解決を目指して～

地方公共団体が管理する橋などの土木構造物や公共施設は、老朽化による管理費用の増大や維持管理を行う技術者不足により、メンテナンスの継続が課題となっています。

これら課題に対応するため、産学官民が集まり、インフラメンテナンスに関する課題の共有・明確化、課題解決を目指して、全国組織である「インフラメンテナンス国民会議」※が活動しているところであります。

この度、沖縄総合事務局開発建設部では、地方組織として、新たな技術の開発・現場試行などをコーディネートする場となる「インフラメンテナンス国民会議 沖縄（仮称）」の設立を予定しています。

設立にあたって、「インフラメンテナンス国民会議 沖縄（仮称）」の準備会に参加していただける方を募集します。準備会にて設立時期、活動内容、運営体制などを議論して、メンバーから事務局を決めていきます。

あわせて、「インフラメンテナンス国民会議」に参加して頂ける企業・団体・行政・個人を募集します。

◎募集の方法

【「インフラメンテナンス国民会議」沖縄（仮称）準備会】

○募集期間：平成30年2月9日（金）

○申込方法：別紙1「インフラメンテナンス国民会議 沖縄（仮称）準備会」申込書に必要事項を記載の上、以下のアドレス宛てに送付願います。

○アドレス：oj-kensetsugyousei@ogb.cao.go.jp

○参考資料：参考1「インフラメンテナンス国民会議 沖縄（仮称）」

参考2「インフラメンテナンス国民会議 沖縄（仮称）設立の進め方」

【「インフラメンテナンス国民会議」会員】

○募集期間：随時

○申込方法：別紙2「インフラメンテナンス国民会議」入会申込書に必要事項を記載の上、以下のアドレス宛てに送付願います。

○アドレス：hqt-maintenance-sogo@milt.go.jp

※「インフラメンテナンス国民会議」は、社会全体でインフラメンテナンスに取り組む機運を高め、未来世代により良いインフラを引き継ぐべく、産学官民が有する技術や知恵を総動員するためのプラットフォームです。詳しくは、以下のホームページに掲載されています。<http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/im/>

問い合わせ先

内閣府 沖縄総合事務局 開発建設部

TEL 098-866-0031（代表）

建設行政課長 松井 洋 （内線 3151）

景観環境事業調整官 下地 朝治 （内線 3130）

建設行政課長補佐 高良 友健 （内線 3152）

インフラメンテナンス国民会議 沖縄(仮称)準備会 御中

インフラメンテナンス国民会議 沖縄(仮称)準備会への参加を申し込みます。

「インフラメンテナンス国民会議 沖縄(仮称)準備会」申込書  
申込者

企業・団体等名称			
企業・団体等所在地		〒 -	
		住所	
担当者1	氏名		(よみがな)
	所属		
	役職		
	連絡先	TEL	
		メール	
担当者2	氏名		(よみがな)
	所属		
	役職		
	連絡先	TEL	
		メール	
担当者3	氏名		(よみがな)
	所属		
	役職		
	連絡先	TEL	
		メール	
担当者4	氏名		(よみがな)
	所属		
	役職		
	連絡先	TEL	
		メール	
担当者5	氏名		(よみがな)
	所属		
	役職		
	連絡先	TEL	
		メール	

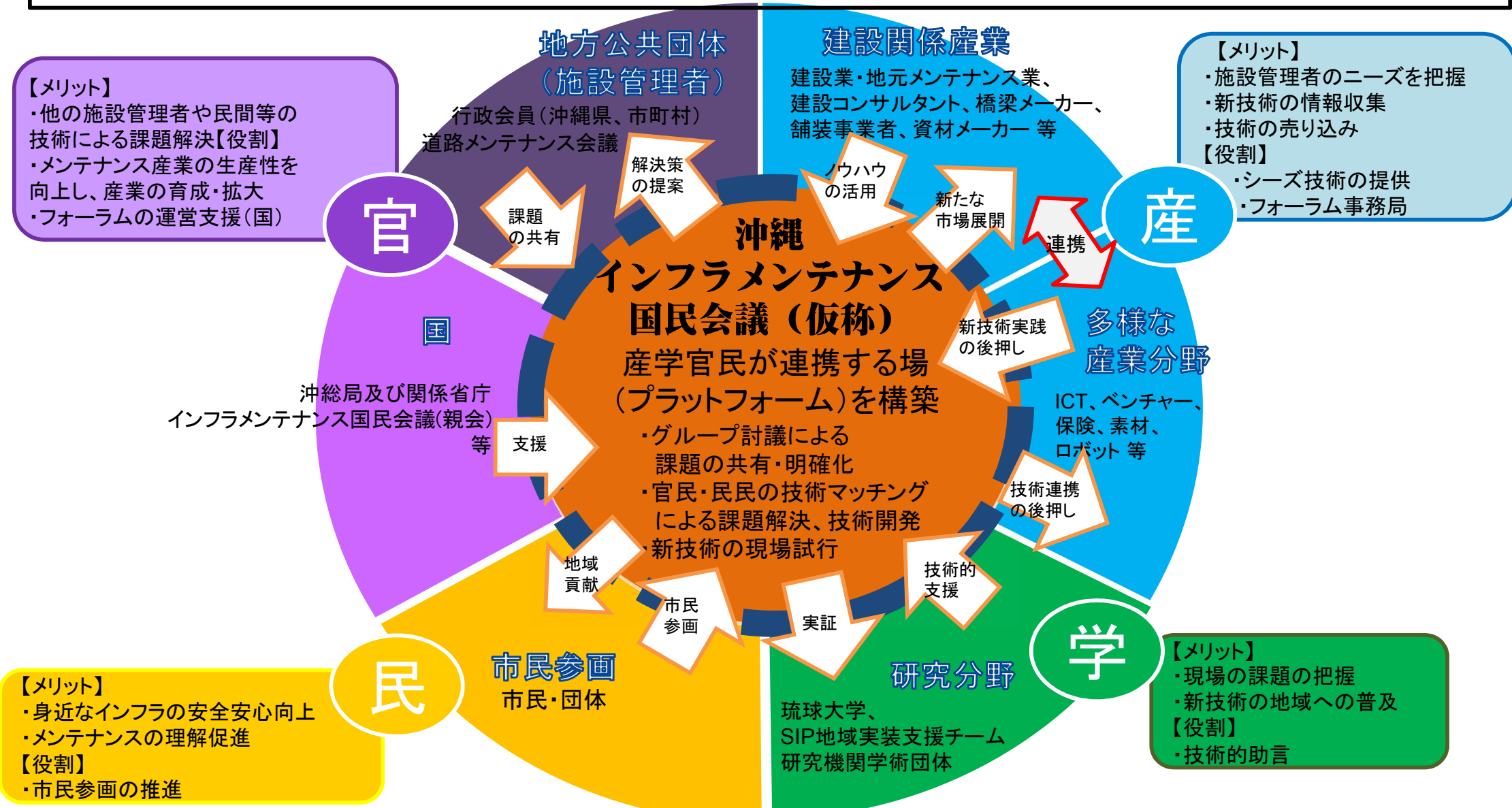
送付先: [oj-kensetsugyousei@ogb.cao.go.jp](mailto:oj-kensetsugyousei@ogb.cao.go.jp)

# インフラメンテナンス国民会議 沖縄(仮称)

～産学官民が連携するプラットフォームを構築～

○地方公共団体が管理する道路・橋梁、舗装、上下水道、建物などの土木構造物や公共施設は、老朽化による管理費用の増大や技術者不足などにより、メンテナンスの継続が課題。

○産学官民が連携し、課題の共有・明確化、課題解決の後押し、また、新たな技術の開発・現場試行などをコーディネートする場(プラットフォーム)の設立を検討。



# インフラメンテナンス国民会議 沖縄(仮称)～企業等のノウハウ活用で地方公共団体支援～

- 地方公共団体など施設管理者のインフラメンテナンスに関する課題を明確化し、グループ討議等の実施により、他の施設管理者や民間企業等のノウハウの情報交換等を促進します。

## グループ討議の開催

- ・地方公共団体がメンテナンスに係る課題（テーマ）を提示し、それらの課題（テーマ）に対し、他の施設管理者の経験や民間企業等のノウハウ、知恵やアイデアを紹介する。
- ・課題の深掘りを行い、民間企業等の知恵やアイデアを踏まえた課題解決に向けた方向性などを議論する。

## グループ討議のイメージ

①地方公共団体による説明  
(現況、テーマ設定等の趣旨説明)



②他の施設管理者や民間企業による情報の紹介



③課題解決に向けた方向性などを議論



④複数回、班をシャッフルしながら議論を発展



⑤地方公共団体側の今後の検討課題の発表



## (参考)平成29年2月21日 自治体支援フォーラム

○場 所：富士ゼロックス株式会社お客様共創ラボラトリー

○参加者：施設管理者 7団体 28名  
その他参加企業・団体等 34団体 35名

○討議テーマ

- ①自治体における技術者育成
- ②建築物の劣化診断調査
- ③メンテナンスへの市民参画
- ④自治体における包括的民間委託の取組紹介



フォーラムの様子





# インフラメンテナンス国民会議 沖縄(仮称)～インフラメンテナンス産業の育成・拡大～

- 具体的な施設管理者のニーズや技術的課題に対する、シーズ技術を持つ企業の参入を促進します。
- 技術開発成果の社会実装を目標とし、施設管理者とさまざまな業種の企業等がオープンイノベーションにより技術開発を促進します。
- 技術開発にあたり企業マッチングや技術開発の実証フィールド等をコーディネートします。

## メンテナンス技術の提案・議論の場の提供

- ・施設管理者がメンテナンスに係る課題を提示し、それらに対し、課題解決意欲の高い民間企業・団体が解決策となる技術等を提案し、マッチング
- ・施設管理者側の解決策や残された課題のほか、企業側の技術開発の新たな方向性等をオープンイノベーションの手法で議論

① 施設管理者による課題の発表



② 民間企業等による技術の紹介



③ 課題の解決策等を全体で議論



④ 解決策や残された課題を共有



## (参考)革新的技術の導入に関するテーマ (一例)

### 革新的河川管理プロジェクト [IoTの活用、ビックデータの活用 など]

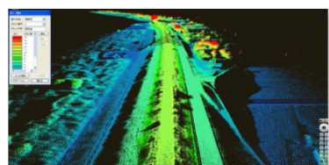
#### 陸上・水中レーザードローン

- 課題**
- ・ 200m間の河川の形状が不明
  - ・ 現在のドローン測量では植生下はx
  - ・ 航空レーザ測量はコスト大

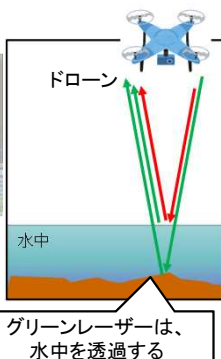
#### 面的連続データによる河川管理へ

- ・ 航空レーザ測量システムを超小型化し、ドローンに搭載
- ・ グリーンレーザにより水中も測量
- ・ 低空からの高密度測量

堤防管理の高度化を実現



ビックデータ



## 企業マッチングのコーディネート

### ① 官－民

こんな技術が欲しい

官



民

我が社の技術を提供します

### ② 民－官

■◇県庁

×○株式会社

我が社の技術を活用できないか

民



官

実証フィールドを提供します

### ③ 民－民

○×株式会社

△△市役所

我が社の技術を活用できないか

民



民

コラボ技術を提案します

凹凸株式会社

株式会社凸凹

### 国民会議におけるコラボ事例①

- ・ A社の水中ロボットによる変状把握技術にB社のデータ処理技術をコラボし、効率的なデータ処理・管理までを含めた水中ロボットの開発に展開中。

A社  
水中での  
変状把握技術

B社  
データ処理技術

点検・診断データの  
管理技術

データ集約・  
管理の効率化

### 国民会議におけるコラボ事例②

- ・ C社のスマホによる振動計測技術にD社の画像を用いた路面性状把握技術をコラボし、路面の不陸と表面状態の統合把握手法の開発に展開中。

C社  
振動計測技術

D社  
画像解析技術

道路路面損傷状態  
を把握する技術

点検・診断  
の効率化

# インフラメンテナンス国民会議 ～確実かつ効率的なインフラメンテナンスの推進～

- 我が国のインフラは急速に老朽化が進み、維持管理・更新費用が増大し、将来的な担い手不足が懸念されており、予防保全等の計画的なメンテナンスによる費用の平準化・縮減や作業の省人化、効率化を図っていくことが必要
- インフラメンテナンスサイクルのあらゆる段階において、多様な産業の技術や民間のノウハウを活用し、メンテナンス産業の生産性を向上させ、メンテナンス産業を育成・拡大することで、確実かつ効率的なインフラメンテナンスを実現

## 産学官民の技術や知恵を総動員するプラットフォームである「インフラメンテナンス国民会議」の取組を推進

会員（199者（H28.11）⇒650者（H29.8））のネットワークを活かしフォーラム活動を本格化 ⇒フォーラムの取組を全国に展開

### 革新的技術の開発と実装の加速

（革新的技術フォーラムほか）

#### ・技術紹介や現場試行のコーディネート



自治体現場における実践事例セミナー（H29.5）



樹木診断技術の現場試行（桑名市）（H29.2）

#### ・企業マッチング

第1回技術マッチングアイデアコンテストを公募（4月～6月9/15）

新技術実装  
の後押し

### 施設管理者

国、都道府県、市町村

課題の共有  
解決策の提案

民間企業の  
ノウハウ活用

### 民間企業のノウハウ活用

（自治体支援フォーラムほか）

#### ・自治体の課題解決に向けた ノウハウ共有や議論の場を構築

- 郡山市における班別討議テーマ（H29.6）
- ①橋梁長寿命化修繕計画の策定
- ②道路舗装の予防保全型維持管理の導入
- ③道路維持補修業務における地域建設業の連携やノウハウの活用方法の模索
- ④市民参画の可能性



班別討議

メンテナンス産業

### 建設関連産業

ゼネコン、地元メンテナンス業等

連携

技術連携  
の後押し

新たな  
市場展開

### 多様な産業分野

ICT、ベンチャー、保険、素材、ロボット等

取組の活性化

## ベストプラクティスの水平展開（第1回インフラメンテナンス大賞の実施）

第1回大賞を実施し、248件の応募の中から全28件を表彰 ⇒インフラメンテナンス革命に向けて全国に横展開するとともに今秋より第2回の公募を開始

### 第1回表彰式（H29.7.24）



国土交通大臣賞

メンテナンス実施現場における工夫部門

「下水道のビッグデータ」を活用した  
メンテナンス



道路陥没や浸水等の情報をデータベース化

（東京都下水道局）  
下水道管のビッグ  
データを補修や再  
構築等の計画立案  
・工事発注に活用

メンテナンスを支える活動部門

しゅうニャン橋守隊（CATS-B）による  
猫の手メンテナンス活動



（しゅうニャン橋守隊）  
道路施設の重要性  
等の広報や維持管  
理をボランティア  
として実施。

技術開発部門

維持管理性を向上させた河川排水用  
新形立軸ポンプの技術開発

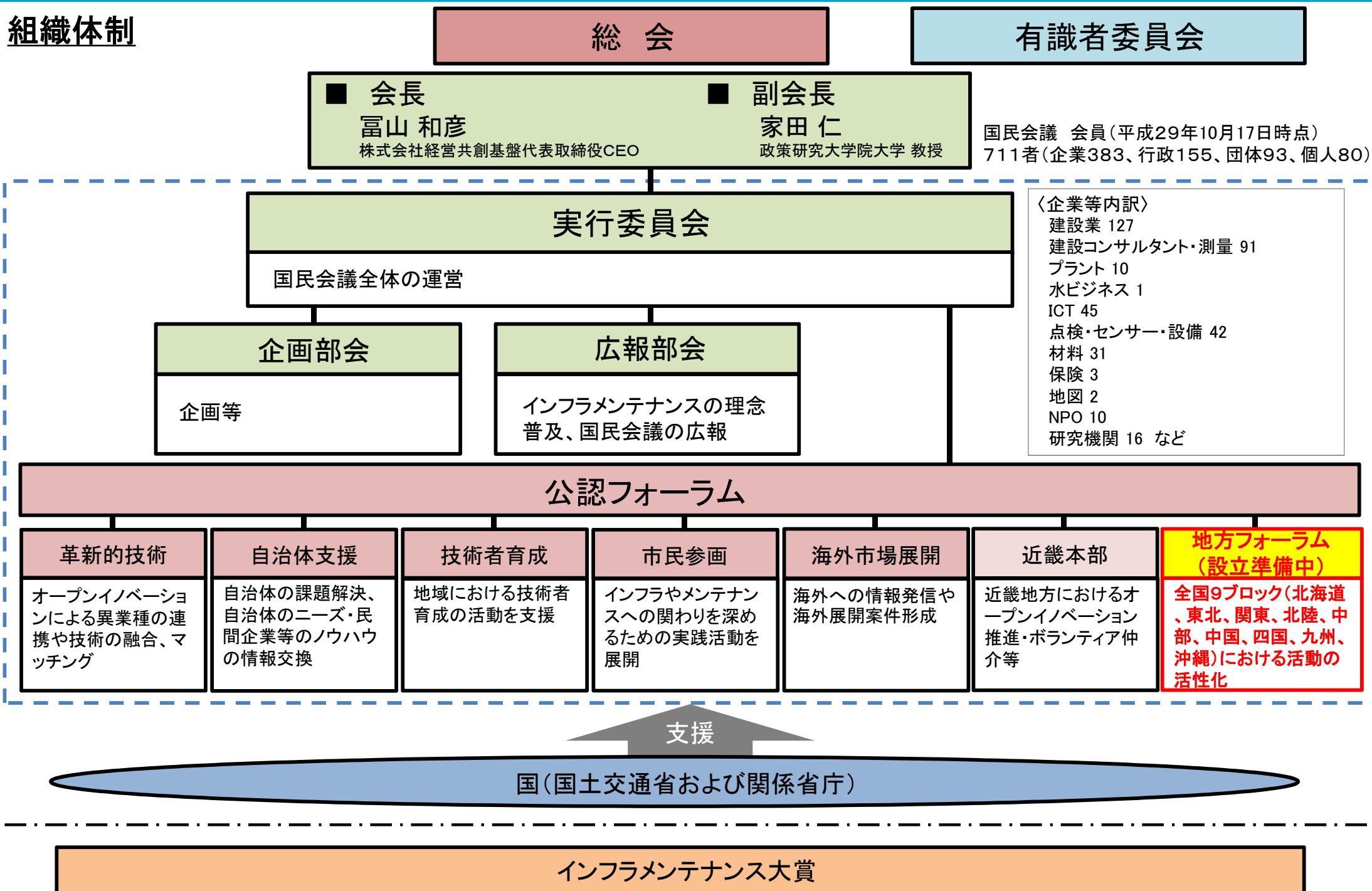


ポンプの軸受位置を下部の開かれた場所に移動

（株式会社荏原製作所）  
ポンプの軸受位置  
を工夫し、点検等  
の作業コスト削減  
等を実現。

# インフラメンテナンス国民会議 ～組織体制～

## 組織体制



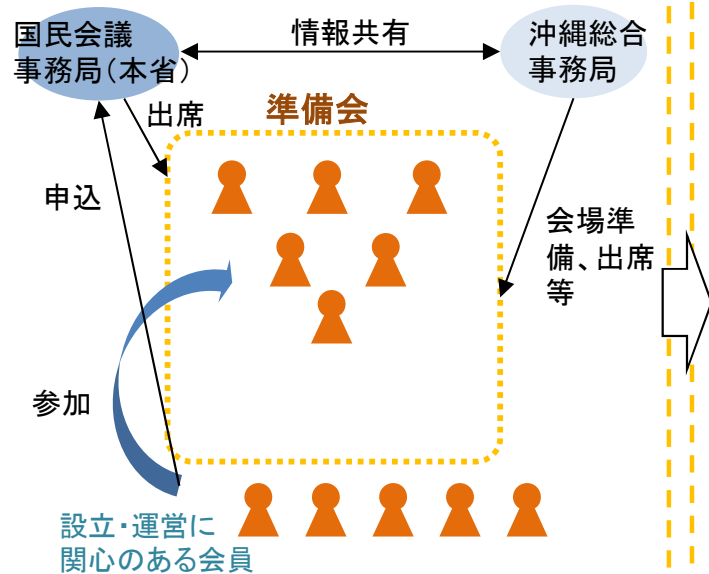


# インフラメンテナンス国民会議 沖縄(仮称)設立の進め方

地方フォーラムの設立や活動を活性化させるため、設立運営に関心のある会員を募集し、準備会開催とフォーラム設立を目指します。

## ①フォーラム準備会の開催

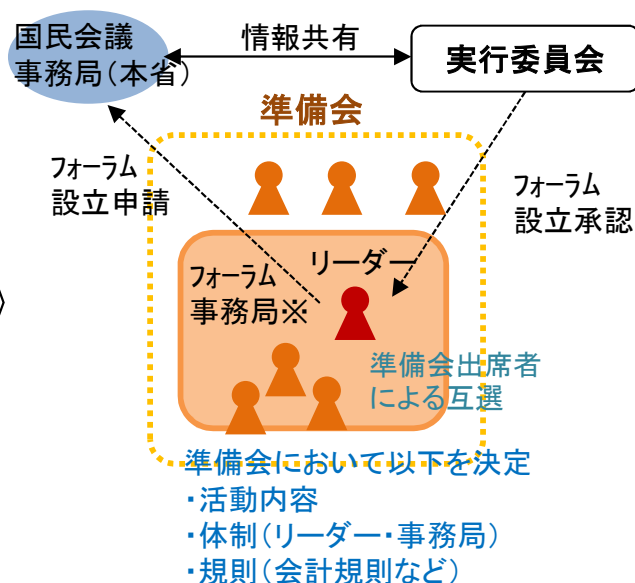
- ・近畿を除く9ブロックで開催



- ・会員宛てメルマガにて設立・運営に関心のある会員を募集中
- ・沖縄において、設立・運営に関心のある会員の募集(期間1/25～2/9)
- ・準備会は近畿を除く9ブロックで開催(数回程度)

## ②フォーラム設立

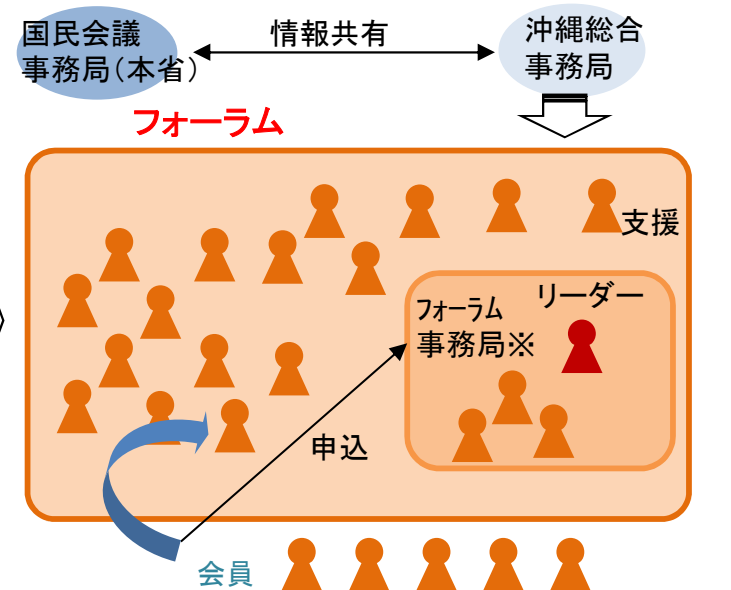
- ・フォーラムリーダー、事務局の選出
- ・フォーラムリーダーが設立申請



- ・準備会にて設立時期、活動内容、運営体制などを議論して決定
- ・リーダーが設立の申請を行い実行委員会の承認を得て正式に設立

## ③フォーラム活動開始

- ・フォーラム参加者の募集
- ・フォーラムの活動開始



- ・設立後の活動はフォーラム事務局が運営を行う。
- ・会員は事務局にフォーラム参加を申込み、フォーラムに参加。

※事務局の要件(フォーラム公認基準において具体的に規定。以下については反映準備中。)

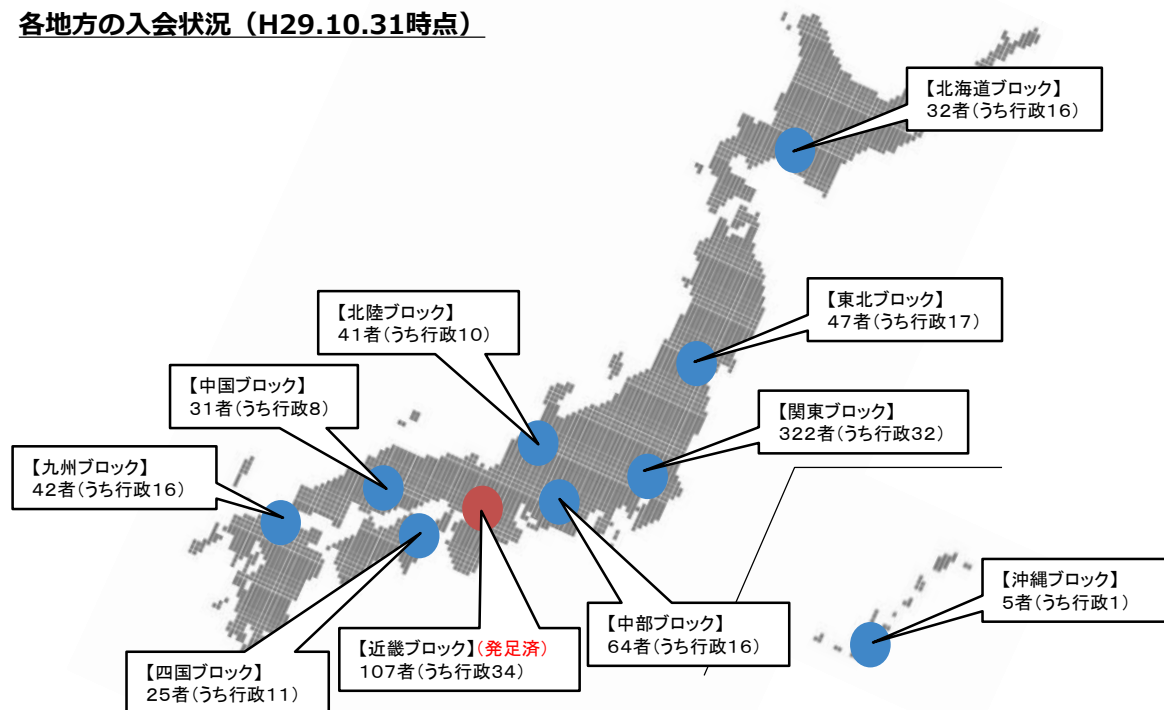
- ①同一団体に所属していない複数個人において構成されること。 ②10人以内で構成されること。



# 産学官民の総力を挙げて地域のメンテナンスに取り組む 行政団体、民間企業、団体、個人を募集しています！

- 平成29年度内に全国各10ブロックでフォーラムの発足を予定しています。
- この企画・運営に携われる企画委員を募集しています。

## 各地方の入会状況（H29.10.31時点）



## 入会方法（会費無料）

### インフラメンテナンス国民会議

で検索頂き、会員申込のページから入会申込書を

ダウンロード頂き必要事項をご記入の上、事務局まで送付下さい

（インフラメンテナンス国民会議ウェブサイト トップページ）

Screenshot of the Inframaintenance National Conference website. The header shows the organization's name and a navigation bar with links: ホーム, 国民会議, 公認フォーラム, 活動紹介, and 会員申込. A callout box points to the 会員申込 link, stating: 「こちらから入会申込手続きができます！」. Below the navigation bar, there is a description of the organization and a section for recent activities.

- ※入会后、ご登録のメールアドレス宛に国民会議の取組をお知らせするメルマガが隔週火曜日に届きます。
- ※各地方における活動支援への参加についても、本メルマガよりご案内しますのでそちらからご確認ください。

## 事務局

国土交通省 総合政策局 公共事業企画調整課 佐藤、鎮西

TEL : 03-5253-8111(24543,24544)

MAIL : hqt-maintenance-sogo@milt.go.jp

# 「インフラメンテナンス国民会議」入会申込書

インフラメンテナンス国民会議事務局 御中

インフラメンテナンス国民会議への入会を申し込みます。

## 申込者

会員種別			
企業・団体等 名称			
企業・団体等 所在地		〒	-
		住所	
代表者 (窓口 (正))	氏名	(よみがな)	
	所属		
	役職		
	連絡先	TEL	
		メール	
代表者 (窓口 (副))	氏名	(よみがな)	
	所属		
	役職		
	連絡先	TEL	
		メール	

※企業・団体内の方に対するメルマガ等の配信については、正又は副窓口代表者より転送願います。

※正・副代表者が異動等により変更となる場合は、事務局に連絡下さい。

※メールアドレス等を手書きで記入するときは、アルファベットの大文字と小文字が判るように記入をお願いします

例 数字の1(イチ)とアルファベット小文字l(エル)

数字の0(ゼロ)とアルファベット大文字O(オー)

※入会申込書の提出によりご登録いただいた個人情報の全部又は一部を国土交通省と国民会議の運営支援の業務委託契約を締結した委託先企業に対し、会員情報整理のために提供することがあります。

送付先: [hgt-maintenance-sogo@milt.go.jp](mailto:hgt-maintenance-sogo@milt.go.jp)